

(仮称) 国際青少年センター・芸術創造ファクトリー

施設整備基本方針（案）

基本理念

【(仮称) 国際青少年センター】

新潟市が目指す「心豊かな子ども」を育むためには、集団での活動の中で、目標をもって様々な体験活動などにチャレンジする場が必要である。体験活動は人づくりに欠かせないものであるとの認識の下、未来を担うすべての子どもたちに人間的な成長に不可欠な体験を経験させるためには、その機会を意図的・計画的に創出することが求められている。

また、グローバル化する社会に対応しつつ、社会を生き抜く力として必要となるコミュニケーション能力や自立心、主体性、協調性、チャレンジ精神、責任感、創造力、変化に対応する力、異なる他者と協働できる力等をあらゆる機会を通して伸ばしていくことも求められている。

次代の担い手として未来への希望を託す貴重な存在である子どもたちの健全な育成のために、社会教育施設が果たす役割は大きい。

家庭や学校とは異なる場所で、多様な体験活動を経験することにより、次代を担う「心豊かな子ども」を育てることを目的とした施設とする。

【(仮称) 芸術創造ファクトリー】

文化芸術は、心豊かな生活を実現するうえで不可欠なものであり、その時代に応じて新しいものを取り入れ、さらに磨き上げ、過去から未来へと受け継ぐことが重要である。

また、文化芸術のもつ創造性を、産業・観光・教育・福祉など様々な分野に活用し、魅力あふれるまちづくりや都市の活性化につなげる必要がある。

本施設は、文化芸術が有する創造性を活かしたまちづくりの一環として、文化芸術の担い手が相集い、創作・展示ができる場とともに、本市の資産である水と土の芸術祭を鑑賞できる場とし、「文化芸術のあふれるまち＝新潟市」の誇りと愛着づくりにつなげることを目的とした施設とする。

施設の機能

【(仮称) 国際青少年センター】

(1) 宿泊・研修の場

青少年の利用団体が集団宿泊体験や交流を通して、自立・協同・奉仕等を体験的に学べる、宿泊・研修の場を提供

- ・ 宿泊室（各階60名程度）、食堂、浴室、多目的スペース、談話室

(2) 体験活動支援センターとしての機能

現在の大畑少年センターが持っている、体験活動支援センターの機能をそのまま引き継ぎ、協調性、創造性、社会性等を養い、心身ともに豊かな青少年を育てるため、また、地の利をいかしたプログラムや芸術創造体験など、特色のある様々な体験学習プログラムを提供

- ・ 野外炊飯場、体育館、工作室、音楽室、調理室、スタジオ

(3) 国際交流の場

積極的に海外に目を向け、広い視野をもって諸外国の人々と理解・交流し、日本の文化を伝えることで、日本の文化を再確認ができる場を提供

- ・ 和室、ワークショップルーム、コミュニティスペース

【(仮称) 芸術創造ファクトリー】

(1) 創作活動の場

国内外を問わず、アーティスト・クリエイター（以後、「アーティスト等」と表記）が創作活動に没頭できる場を提供。レジデンシャル創作の場合、宿泊については外部施設を利用することとする。ただし、簡易な休憩室等は設ける。なお、近隣住民に考慮し、24時間創作活動が可能な防音機能を持たせたものにする。

- ・ 工房ギャラリースペース

(2) 作品鑑賞の場

過去3回の「水と土の芸術祭」や本施設で創作した作品を展示し、多くの方々が作品鑑賞できる場を提供

- ・ 水と土の芸術祭アーカイブスペース
- ・ ギャラリースペース

整備・運営手法

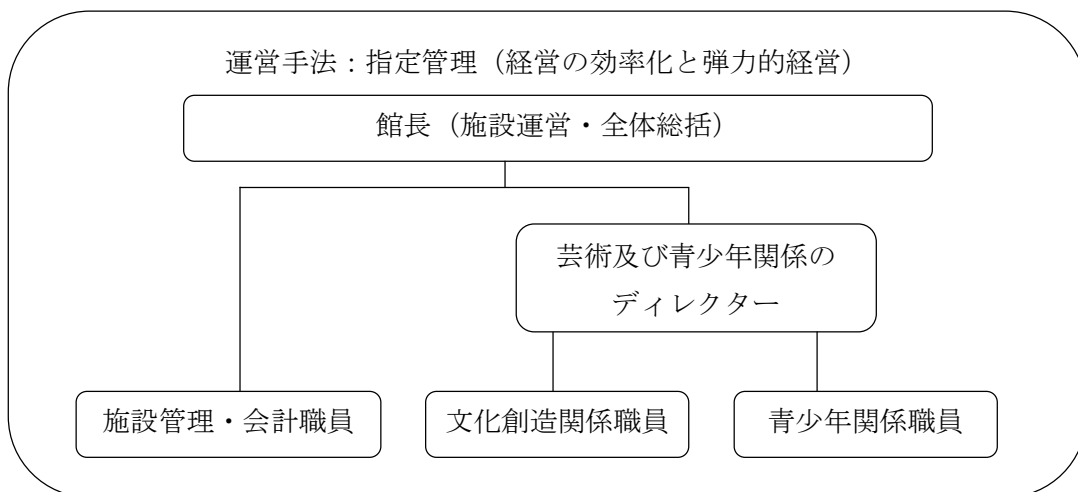
(1) 整備手法

市は国際青少年センターと芸術創造ファクトリーの双方を効果的に運営できるディレクターを早期に選定し、施設整備について意見を反映させる。

(2) 運営手法

- ・ 経営の効率化と弾力的な運営を考慮し、指定管理制度を導入する。
- ・ 複合施設であることから、両施設の一体的な指定管理とする。
- ・ 指定管理者は施設運営を総括する館長を配置し、市が選定したディレクターとともに管理運営に努める。

【案1】



【案2】

